

教職員の紹介

地域や都市がどう成り立ち、そこで人間と社会と自然はどう関係していて、今後それをどう改善してゆくべきか探求すること、「人間、社会、自然の関係を結び直すデザイン」を共通の目的として、建築、ランドスケープデザイン、地域計画を実践する教員が職員と一つの研究体を組織しています。学生もまた、この研究体に所属します。そして、教職員に支えられながら学業・研究に臨みます。



竹内昌義 たけうちまさよし 教授
建築設計

エコ、リノベーションも含めた暮らしのあり方、ただ形を考えるだけではないデザインのあり方を追求します。社会のあり方を見直し、仕組みを変え、新しい暮らし方を提案してゆきます。



松本年史 まつもととしふみ 教授
建築構造設計

工業材料を用いた高性能な構造物の設計の他、地域の再生産可能な自然材料を使うことで持続可能な社会の実現を目指す、建築構造設計の研究を行っています。



山畑信博 やまはたのぶひろ 教授
建築構法、ヴァナキュラー建築、景観計画

気候風土、歴史、民族、文化、先端技術をキーワードに、古今東西の建築のしくみやそれらを取り巻く景観を研究し、21世紀の地球で暮らす私たちの生活空間に展開してゆきます。



吉田 朗 よしだあきら 教授
都市・地域計画、交通計画、まちづくり

真に人間のために都市や地域がどうあるべきか。脱自動車社会を目指した「歩ける街」づくり、人間の生活や生態、社会に合った「人間都市」の空間デザインがテーマです。



志村直愛 しむらなおよし 准教授
建築史、都市景観、歴史を活かしたまちづくり

古代から近代まで、日本や西洋の人々と建築を巡る歴史を振り返り、未来に進むべき道を考えます。豊かな歴史の蓄積を活かした都市景観形成やまちづくりを研究、支援しています。



三浦秀一 みうらしゅういち 准教授
住まいとまちの環境計画

地球温暖化をはじめとする様々な環境問題から、人ーすまいーまちー地球というつながりを見つめ直し、新しい住まいやまちの未来を提案してゆきます。



廣瀬俊介 ひろせしゅんすけ 准教授
Landscape design (ランドスケープデザイン)

公園、街路、集合住宅の庭、企業施設の外構緑地、河岸その他の設計を手がけています。それぞれの場を当地の風土の部分となるようにデザインすることが、私の研究目標です。



馬場正尊 ばばまさたか 准教授
建築設計・リノベーション

今日の社会に必要とされる建築とは？を探求しています。古い建物を再生するリノベーション、公共空間やまちなかの新しいデザイン手法など、設計・実践を通して研究を進めます。



渡部 桂 わたなべかずら 講師
Landscape design (ランドスケープデザイン)

庭、広場、公園の設計、農村や里山の環境と風景の維持に取り組んでいます。自然を基盤として広がる美しい風景と場所、そこに関わる人間活動の全てを一体のものとして捉えています。



マエキタミヤコ 客員教授
社会問題に関する広告メディアクリエイティブ

エコ、戦争、社会問題をテーマにしたNGOやNPOのための広告制作に取り組んでいます。世の中全体がエコシフトを起こして、日本の経済が環境経済に置き換わることが真の目的です。



森 みわ もりみわ 客員教授
省エネ建築設計、Passive House Design

気候風土や文化に配慮した、これからの省エネ住宅のローカルな回答を追求してゆきます。持続可能な社会のために、設計者の立場でグローバルに省エネ建築設計を考えています。



古川文郁 ふるかわあやか 副手
建築設計、住むことのデザイン

人が建物の内外でどのような経験をするか。時を経てそれがどう建物に蓄積し、周りの環境ににじみでてくるか。人・建築・環境のすべてが一体となった「住むこと」を考えています。



山田幸司 やまだこうじ 副手
バイオマスエネルギー、新エネヴィジョン

地域特有の自然エネルギーを上手に使う仕組みづくりを手がけています。農山村の森林資源の現代に適した使い方を提案し、持続可能な循環型の社会を創出することが主課題です。



阿部和弘 あべかずひろ 学生事務担当

学生生活、修学、進路等の面でのサポートを担当します。奨学金や課外活動、授業の履修、就職活動といった「入学から卒業まで」の各種相談に応じ、学生と一緒に考えながら支援をしてゆきます。